

# 第 31 回火山噴火予知連絡会 議 事 録

日 時 : 昭和 59 年 5 月 14 日 (月) 14 時 ~ 16 時 50 分

場 所 : 気象庁第 1 会議室

出席者 : 委 員 : 下鶴, 横山, 高木, 力武, 渡部, 久保寺, 加茂, 太田, 小坂, 別所\* (科技厅)  
清水, 重藤, 小野, 水野, 佐藤, 高橋, 河村, 山川, 市川\* (気象研), 原田  
注) \*印 : 委員の代理出席, ( )内は所属

オブザーバー : 谷川 (国土庁), 吉川 (文部省), 熊谷 (防災セ), 中村 (気象庁), 田中  
(気象研)

庶 務 : 金沢, 横内, 永福, 安藤, 山本, 宇平

[ 議事に先だち, 新委員等の紹介 (山川委員)。 ]

- 海上保安庁水路部企画課長 渡辺隆三 から 佐藤任弘
- 気象庁観測部長 竹内清秀 から 河村 譜
- 気象研究所長 森安茂雄 から 竹内清秀
- 気象庁火山室長 浜松音蔵 から 金沢茂夫 (事務局)
- 気象庁火山室調査官 吉留道哉 から 横内恒雄 (庶 務)

## 議 事

1. 第 30 回連絡会議事録(案)は異議なく承認された。

2. 最近の火山活動について

### 2.1 桜 島

金沢 (気象庁) : 活動経過

加茂委員 : 爆発回数, 地震の発生状況, 年間降下火山灰量とその分布等について

### 2.2 草津白根山

金沢 (気象庁) : 活動経過及び前橋地方気象台発表の定期火山情報

小坂委員 : 山ろく主要噴気孔のガス組成, 湯釜及び山ろくの河川の水質変化と噴火活動との関係について

### 2.3 三宅島

金沢 (気象庁) : 活動経過

小野委員 : 阿古・栗辺地区パイプ孔および阿古温度観測井による温度測定とその経日変化について

佐藤委員 : 昭和 49 年 1 月以降の三宅島一神津島間の月平均及び年平均潮位差について

### 2.4 阿蘇山

金沢 (気象庁) : 活動経過

田中（気象研）：噴煙自動観測装置による噴煙量，噴煙温度，SO<sub>2</sub>濃度の観測結果について

## 2.5 金沢（気象庁）：活動経過

小野委員：ドライティルト観測1984について

渡部委員：比抵抗測定，辺長測量結果について

## 2.6 北海道の火山

〔北海道駒ヶ岳〕

横山委員：最近の地震活動について

〔有珠山〕

横山委員：噴火終息後の地殻変動と地震活動について

水野委員：1983年9月，有珠山周辺の辺長測量について

〔奥尻島〕

横山委員：1984年3月18日から起きた群発地震について，火山・地質関係者が地震観測と地質調査を行った結果，今回の群発地震は直接火山活動と関係するものではないと結論された。「1724年に神威山が噴火し，火山灰を降らした」という記録もあるが，その可能性はないと考えられる。

〔樽前山〕

横山委員：地震活動，1984年4月23日の現地調査，地震と微動の類型化等について

## 2.7 その他

〔霧島山〕

渡部委員：人吉盆地の微小地震活動について

〔南硫黄島〕

佐藤委員：南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について

〔海徳海山〕

佐藤委員：本年3月7日に視認された海底火山活動について，その後の調査結果について報告

小坂委員：変色水，軽石等の分析結果について

## 3. その他

### (1) 次回連絡会開催期日

10月19日（金）を予定

〔17:45～18:10 記者会見 気象庁記指室〕